



浜家連 ニュース 6月号

第214号

平成30(2018)年6月1日発行

発行人 特定非営利活動法人 横浜市精神障害者家族連合会
事務局 〒222-0035 横浜市港北区鳥山町 1725 番地
障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール3階
電話 045(548)4816・FAX 045(548)4836
URL <http://hamakaren.jp/>

第10回 浜家連総会が開催されました。 事務局長 中居武司

平成30年度理事長に宮川玲子さん、副理事長に大羽更明さん、稲垣宇一郎さん、倉澤政江さん、井汲悦子さんが選出され、三役体制が決まりました。

5月29日(火) NPO法人浜家連第10回通常総会が開催されました。

ご来賓として健康福祉局障害支援課長 佐藤祐子様をはじめ、横浜市会の横浜市健康福祉・医療委員会の先生方、関係団体、関係機関の代表13名の方々のご出席下さいました。

司会者が開会を宣言し、第10回通常総会が始まりました。

冒頭の宮川理事長の挨拶の中では①優生保護法による障害者への差別②寝屋川事件にみられるような精神障害者の監禁問題③精神科病院での身体拘束の問題が指摘されました。来賓の方々からは総会開催の祝辞、浜家連の日々の活動に対する感謝や今後期待することなどのご挨拶をいただきました。

議長、書記、議事録署名人を選出し、総会の成立が報告され、議事に入りました。

第1号議案「平成29年度事業報告」、第2号議案「平成29年度収支決算」、第3号議案「監査報告」について報告があり、満場一致で承認されました。

第4号議案「平成30年度事業計画案」、第5号議案「平成30年度収支予算案」について

【平成30年度活動方針から(抜粋)】

家族会活動の原点は①家族同士の支え合い・分かちあい ②医療・福祉・障害者の権利などの学びあい ③行政や一般市民への働きかけの3点です。今後もこの三つの原点を堅持しつつ、幅広い活動を続けます。

加盟する各単会の活動をベースに互いに協力し合い、**家族間の連携を深めることにより「家族力」を**

提案が行われ満場一致で可決されました。

6号議案「30年度の理事・監事候補」について提案があり、採決の結果賛成多数で可決されました。この後、第1回の理事会が開催され、理事長 宮川玲子さん、副理事長 大羽更明さん、稲垣宇一郎さん、倉澤政江さん、井汲悦子さん、常任理事14名を選出し、この結果について報告が行われました。ここで議事は終わり、議長・書記は解任されました。

浜家連が運営母体になっている「青いとり」の施設長石渡健太さん、「わかば工芸」の施設長丸山義明さんが紹介され、ご挨拶をしていただきました。

今回の総会をもって退任される前副理事長北川はるみさん、松本やす子さん、浅田和徳さんから退任にあたっての挨拶をいただき、惜しめない拍手が送られました。

最後に、長年にわたって職員を務められている「わかば工芸」の竹田美和子さん、「青いとり作業所」の伊藤清乃さんへの永年勤続表彰を行い、表彰状と金一封が贈られました。



高め、市民によりいっそう認められる精神障害者の家族の運動を推し進めます。

長い間ご苦勞さまでした。そしてありがとうございました。

***** 副理事長退任のご挨拶 *****

この度、副理事長を退任することになりました、北川はるみです。

思い起こせば4年前、米倉元理事長からお話を頂き、専業主婦で暮らしてきた私に務まるのかしらと疑問でしたが、良い経験になるのではとも思い、お引き受けいたしました。活動中、浜家連の存在の重要性を感じる事が多々あり又、

前副理事長 北川 はるみ

齊藤さん小野寺さんと、長年、浜家連の屋台骨を支えて下さった方々の退職もありました。副理事長として十分な仕事ができただ疑問ではありますが、これからは常任理事として、微力ながらお手伝いできればと思っております。お世話になりました、ありがとうございました。

浜家連副理事長は平成 30 年 5 月 29 日を持って退任しました。前副理事長 松本やす子

平成 17 年（2005 年）5 月 26 日より浜家連副会長に指名され、何も分からないまま夢中で過ぎてきました。平成 22 年 2 月 22 日に「特定非営利活動法人 横浜市精神障害者家族連合会」として登記されました。と同時に副理事長として任務が継続となりました。「横浜市精神障害者家族会連合会」から、NPO 法人浜家連（略称）に移行するに当たり元石井紀男会長を始めとする 8 名のプロジェクトチームが立ち上がり、役員の方々のご苦勞が有りました。22 年 10 月 10 日には、神奈川県労働福祉協会（Lプラザ）にて来賓・会員 250 名のご出席で「NPO 法人浜家連」の設立記念式典を執り行い、と同時に 30 周年記念誌も発行しました。24 年 2 月 12 日に財源を確保するために上條恒彦・小室等さんと呼んでチャリティーコンサートを横浜芸術劇場「K A A T」にて 1,000 人の来場者を迎えて開きました。この大きな事業に関われたことは私の心に残ることです。鶴見区の浜家連事務所から、現在のラポール事務所迄述べ 11 年間

副会長・副理事長として携わらせて頂きました。当初理事会の椅子に座るのも拒まれ、何で私にここに居るのだろう、毎回落ち込んで暗い気持ちで帰っていました、と同時に勉強しなくてはとの思いに駆られました。色々な課題に遭遇し、石井理事長始め、米倉・柏木・鷹野各氏にはよくご指導受け微力ながら仕事を続けさせて頂きました。対外的に多数の著名な先生方とも講演会を通して交流を持つことが出来ました、息子がこの病気にならなかったら出会える方々ではなかったです。副理事長の職務は本当に大変でした。が、同じぐらい人間形成を変えてもらえました。



一番の喜びは息子（当事者）が今、私の最大の援助者になってくれていることです。

次期も継続される宮川理事長、副理事長を担ってくださる皆さま、大変なご苦勞が有ること良く分かっております。ご自愛しながら大きな浜家連を背負ってご活動宜しくお祈いします。

***** 副理事長退任にあたって *****

私は、この度、副理事長を退任させていただくことにいたしました。

2 年前の副理事長就任時の挨拶として、浜家連ニュースに『私は家族会につながってから 6 年間の家族会活動の中で、病状は回復したが日常生活、就労支援施設などへの通所が安定しないという事例をたくさん見てきました。更に、医療や福祉サービスにつながらず、たいへ

副理事長 浅田和徳

ん困っておられる当事者・家族がたくさんおられるということも知りました。

このような実態を知る程に、困っておられる当事者・家族の方に、我々家族自身が直接、何とか関われる方法はないものかと考えていました。』と書かせていただきました。

この思いを一步ずつでも実現させるべく、活動を進めてきて、何とか目途が立ったように

思います。今後は、この活動を拡充できるように頑張っていきたいと考えています。

副理事長就任を含めた浜家連理事会活動への参画も5年間と短い期間ではありましたが、

いろいろと学ばせていただきました。たいへんお世話になりました。ありがとうございました。

副理事長になりました。皆さまのご協力・ご支援よろしくお祈いします。

***** 副理事長就任にあたって *****

この度副理事長に就任することになりました。よろしくお祈い申し上げます。

先日の通常総会でご選任頂きました時は、身が引き締まる思いでございました。その後、続々と届く書類に目を通し、会議予定で埋まるスケジュール表を眺めていると、諸先輩のご苦勞・ご努力に思い至っております。

家族が、山あり谷ありの道を歩んでおりますと、「どこまで続くのか」とどうしても気持ちが

***** 副理事長就任にあたって *****

この度、副理事長に就任することになりました倉澤です。

高齢の母親を通いで介護しながら、大切なお役が務まるのか、と戸惑っているのが正直な気持ちです。

精神障害者をとりまく世界は医療中心から地域生活重視へと変わってきています。しかし幾つか制度は出来てもまだまだ実情に追いついておらず、多くが引きこもる本人を家族でケアしているのが現実です。

***** 副理事長就任にあたって *****

私は家族会（さかえ会）に入会して10年になります。最初の2年は仕事があったため名ばかりの会員でした。退職後、家族による家族学習会に参加したことがきっかけで役員になり、その後浜家連の理事になって5年目です。

浜家連では、家族による家族学習会のアドバイザーとして家族学習会のお手伝いをさせていただいています。アドバイザーとしていろいろな区に行かせて頂き、たくさんの方と出会い、お話を聞き、語り合う中で、息子のこと家族としての自分のことを少しずつ客観的に見ることがで

副理事長 稲垣 宇一郎

萎えて参る時もございます。

乗り越えていくためには先ず「家族が元気になること」と言われております。浜家連はその元気になる場でございます。

微力ではございますが、総会で決まったばかりの平成30年度事業計画の達成の為に、皆様のご指導とご鞭撻を頂きながら、力を尽くして参りたいと存じます。

副理事長 倉澤 政江

英国のメリデンファミリーワークの様な訪問型で本人と家族を共に支援してくれる制度(プログラム)が出来れば・・・、との思いを強くしているこの頃です。

みんなで見る夢は現実になるとも言いますから思いをコトバにしつつ、明日からの浜家連活動に微力ながらお役に立てればと思っております。

これからも皆さまのご支援とご協力のほどよろしくお祈い致します。



副理事長 井汲 悦子

きるようになり、困難なことがあっても慌てないでいられるようになりました。家族学習会がますます広がるように微力ながら取り組んでいきたいと思ひます。

栄区では通所型の生活訓練所が間もなく開所します。私も訪問支援員として参加させていただく予定です。また昨年から当事者グループの活動にも参加させてもらっています。これらの活動で得た現場の生の声や当事者の思いを浜家連の活動に生かせるようにしていけたらと思ひています。

私は浜家連の目指すものの中で「支え合い」という言葉が一番好きです。理事会等に出席して楽しいことは、困難なことがあっても逞しく頑張っている多くの方々にお会いでき、大変

な出来事でも一緒に笑いとばしてもらって元気になって帰ることができることです。これからもこの原点から外れない家族会活動でありたいと思います。

浜家連の動き



☆横浜市及び政党へ要望書の提出、懇談会が行なわれています☆

31年度予算に向けての要望書提出、懇談会が始まります。日程についてお知らせします。

我々の思いを伝える数少ないチャンスです。多くの方のご参加をお待ちしています。

健康福祉局とは、8月2日(木)13時30分～15時で折衝を行なっています。

要望書提出、懇談会日程

自民党	6月7日(木)	16:20～17:00
公明党	6月12日(火)	15:00～15:45
共産党	6月18日(月)	10:00～
民権 フォーラム	6月21日(木)	14:30～15:00

◆イベントのお知らせ◆

§30年度家族学習会担当者研修会 in 横浜§

日時：7月2日(月)10:30～15:00(受付開始10:00)

場所：横浜ラポール2階 大会議室

申込み締切日：6月22日(金)

※30年度家族学習会をまだ計画していない単会からの参加もお願いいたします。

§30年度第2回浜家連研修会§

「精神科の訪問看護とは？これからはどんな支援が必要なのか？」

日時 7月19日(木)

時間 午後1時半～午後4時(開場午後1時)

場所 横浜ラポール 2階 大会議室

講師 増子 徳幸 氏(一般社団法人てとて代表理事)

定員 100名(先着順)



＝訂正のお願い＝

以前お知らせしましたタナベ社会保険事務所のEメールアドレスですが tnbkni@yacht.ocn.ne.jp → Tnbknj44@yacht.ocn.ne.jp に訂正をお願いします。



【編集後記】

30年度の総会が開催され、新体制がスタートしました。3名の新しい副理事長を迎えて、活動方針にもあるように、家族間の連携を深めることにより「家族力」を高めて、多くの市民に認められる家族会活動ができますよう、願ってやみません。(事務局 中居)